

## 第5学年4組 社会科学習指導案

指導者 宮野木小学校 塩見 直之

1 小単元名 米づくりのさかんな庄内平野

2 小単元について

本小単元は、学習指導要領第5学年の目標（2）にある「我が国の産業の様子、産業と国民生活の関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。」を受けて行う。

児童はこれまで、「国土の地形の特色と人々の暮らし」「国土の気候の特色と人々の暮らし」において、我が国の国土の地形や気候の概要を理解し、地形条件や気候条件に合わせて人々の暮らしや産業が工夫されていることを学習してきた。さらに「わたしたちの生活と食料生産」の導入では、普段私たちが食べているものが日本各地や外国から運ばれてきていることを知り、多くの働く人々によって食生活が支えられていることに気付くことができた。

本小単元では、庄内平野の米づくりの学習を通して、「米づくりが地形や気候などの自然条件を生かしながら行われていること」「農家の工夫や努力」「効率的な生産やよりよい米を作るための農家を支える仕組み」「消費者までの運輸の働き」などを理解していく。

本学級の児童の多くは、新しい知識を得ることに楽しみを感じ、与えられた課題に対しては意欲的に取り組むが、主体的に追求することが得意でない。また、目の前の米がどのように作られて運ばれてきているのかなど、自分の食べている食料品やその背景について無関心な面もある。この学習を通して、農作物の生産・運輸が多くの人の手を経て行われ、私たちの生活に深く関係していることを感じさせたい。また、日本の米づくりが直面している問題を自分たちの問題として捉え、消費者である自分たちが農業を元気にするために何が出来るのかということを考えさせたい。

そこで本小単元の導入では、身の回りにある米製品や料理から私たちの生活に関係しているお米に関心をもたせる。そして米袋から北海道や新潟など寒い地域でさかんに生産されていることを理解させ、つや姫の食味体験や作付面積あたりの生産量の比較から山形県の庄内平野で行われている米づくりに関心をもたせる。

どのように生産し、私たちのもとへ届くのかを調べる学習では、既習内容をもとに計画を立て、教科書や資料集、JA全農山形のホームページを活用したり、お米マイスターの話を聞いたりして問題を解決させていく。そのなかで、米づくりに関わる人々がどんな思いや願いをもっているのかということも気付かせていきたい。

そして学習のまとめでは、普段の自分たちの食生活の様子を振り返ったり、米の生産量と消費量の移り変りのグラフや冷害による米不足の時の新聞記事を読み取ったりする活動を行う。この活動を通して生産量や消費量の減少を自分たちの問題として捉え、自分たちにできることをしようという意識をもたせたい。そしてその後、なぜこのような問題が起きているのか、問題解決のためにどのような努力が行われているのかを調べ、そのことをもとに自分たちに何が出来るのかを考えさせていきたい。

3 児童の実態 (男子14名 女子19名 計33名)

① 社会の学習は好きですか。

好き	どちらかという好き	どちらかという嫌い	嫌い
13	13	7	0
<b>【好き・どちらかという好き】</b> ・日本や世界のことが分かる(9) ・色々なことが分かる(8) ・よく分かる(4) ・面白い(2) ・地球儀や立体地図をさわって楽しい ・資料を読み取るのが楽しい ・調べることが楽しい		<b>【嫌い・どちらかという嫌い】</b> ・色々なことを覚えるのが大変(4) ・苦手だから ・勉強があまり好きではない ・難しい言葉が出てくる	

② ご飯のイメージを教えてください。(自由記述)

・温かい(15) ・白い(13) ・もちもち(10) ・おいしい(9) ・あまい(9) ・おかずに合う(7) ・主食(6) ・冷めると固くなる(4) ・つやつや(4) ・つぶつぶ(3) ・朝食(2) ・生活に必要なもの(1) ・農家を作る(1) ・ふっくら(1) ・つつる(1) ・いいにおい(1) ・小さい(1)
--

③ 家でご飯をよく食べますか。

よく食べる	パンやめんの方が多い	あまり食べない
29	4	0

④ 日本の中で、お米作りが盛んな都道府県はどこだと思いますか。(自由記述)

・新潟(16) ・千葉(7) ・北海道(4) ・山形(2) ・秋田(1) ・富山(1) ・沖縄(1) ・知らない(13)
---

⑤ どのような場所がお米作りに向いていると思いますか。(自由記述)

・温かい(8) ・日光がよく当たる(5) ・暗い(5) ・土地が低い(3) ・水が多い(3) ・涼しい(1) ・台風が来ない(1) ・水はけがよい(1) ・水がきれい(1) ・分からない(6)
--

⑦お米作りについて知っていることを教えてください。(自由記述)

- |   |
|---|
| ・どろに植える (5)    ・害鳥対策が大変 (2)    ・水を溜める (1)    ・機械を使う (1)<br>・土を柔らかくする (1)    ・分からない (21) |
|---|

⑧お米を作っている農家の人はどのようなことを工夫していると思いますか。(自由記述)

- |   |
|---|
| ・害鳥対策 (11)    ・害虫対策 (5)    ・広い場所で育てる (1)    ・心をこめる (2)<br>・分からない (16) |
|---|

⑨作られたお米があなたの前に来るまでの流れを知っていますか。

知っている	知らない
0	33

⑩もしあなたがお米を買いに行くとしたら、どんなことを考えて買いますか。(自由記述)

- |  |
|--|
| ・安い (8)    ・おいしい (7)    ・産地 (2)    ・国産 (1)    ・量 (1)    ・誰が作ったのか (1)<br>・コシヒカリかどうか (2)    ・考えていない (18) |
|--|

⑪お米作りについて調べるには、どのような調べ方がよいと思いますか。(自由記述)

- |   |
|---|
| ・インターネット (18)    ・本 (12)    ・見学 (6)    ・農家に聞く (3) |
|---|

(考察)

本学級は、「社会科の学習は好きですか」という問いに対して好きと答えた児童がとても多い。4年生までの地域中心の学習内容が、世界の国々や日本全体へと範囲が広がったことで情報量が増え、新しい知識を得ることに楽しみや喜びを感じている。しかしその反面、新しい知識を得ることを「覚えること」と理解し、苦手意識をもつ児童もいる。覚えなければならないという意識を減らしていくためにも、児童の疑問を大切にしてい興味関心をもって問題解決のために調べていく学習形態をとる必要があると考える。また、米をよく食べているという印象をもっているが、1週間の食事のなかでどのくらい米を主食としているかを調べてみると50%と実際には食べる機会が少ない。そのためかお米に対して身近なものという印象をもっているものの、私たちの生活を支える大切な食糧だという意識があまりない。そこで導入時に児童の身近にある米を使った様々な料理を思い出させることで、私たちの生活と米は深く関係しているということに気付かせたい。また、米づくりには水が不可欠なことや機械化が進んでいることは4年生の香取市の学習から理解しているものの、米がどのように生産され、私たちのもとへ届くのかということに関してはほとんど知らない。そこで資料やグラフを活用するだけでなく、米の販売に携わるお米マイスターの姿も示すことで、どのような過程を経て私たちのもとへお米が届けられるのかをより理解できるようにしたい。

#### 4 小単元の目標

- 庄内平野の自然的条件や米づくりの様子、運輸の働きについて調べたり、表現したりする活動を通して、庄内平野での米づくりに関わる人々の工夫や努力を理解できる。
- 米の生産が私たちの食生活を支えていることを知り、日本の米づくりの発展を願い、自分たちに今、そしてこの先にどのようなことができるのかを考えることができる。

#### 5 小単元の評価規準

評価の観点	評価規準
社会的な事象への 関心・意欲・態度	○我が国の農業について関心をもち、意欲的に調べている。 ○国民生活を支えている農業の今後の発展を願い、自分にどのようなことができるのか考えようとしている。
社会的な 思考・判断・表現	○米の生産について学習問題や予想を考え、表現している。 ○米の生産が自然環境と深い関わりをもって営まれていることや国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることについて考え、適切に表現している。 ○農業の今後の発展を願い、自分にどのようなことができるのか考え、表現している。
観察・資料活用の 技能	○我が国の米の生産の様子について地図や統計などの資料を活用するなどして必要な情報を集め、読み取っている。
社会的な事象についての 知識・理解	○米の生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働きを理解している。 ○米の生産が食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりをもって行われていることを理解している。

#### 6 小単元の指導計画（12時間扱い）

次	過程	時間	主な学習活動と内容
第一次	つかむ (みえる)	1	身の回りにお米を用いた料理や米から作られている製品について話し合い、私たちの生活は主食である米によって支えられていることを知る。 米袋から分かる米の生産地を白地図にまとめて米が日本各地で生産されていることを知り、日本の主要な米の生産地を知る。

		1	<p>前時に作成した米の生産分布の白地図、つや姫の食味体験や作付面積あたりの生産量の表、運ばれる量の図から庄内平野の米づくりに関心を持ち、学習問題を作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>庄内平野はどのような自然条件で、どのような人々の工夫や努力があり、どのようにして遠い私たちのところへ届けられるのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庄内平野の米づくりと地形や気候との関係</li> <li>・米づくりの過程</li> <li>・米を作る農家の工夫や努力</li> <li>・米が消費者に届くまで</li> </ul>
庄内平野で米づくりを行う人々の工夫や努力	調べる（みえる・わかる）	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>庄内平野はどのような自然条件なのだろうか。</p> </div> <p>航空写真や資料（気温、日照時間）をもとに庄内平野の自然条件について調べ、米づくりに適した土地であるということを理解する。</p>
		1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>庄内平野の米づくりにはどのような工夫や努力があるのだろうか。</p> </div> <p>資料（農作業写真、JA 全農山形のホームページ、稲の成長過程の写真）から米の成長する様子や農家の仕事について調べ、農家の方の様々な仕事によって米が育つことに気づき、農家の方が大切に米を作っていることを理解する。</p>
		1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>庄内平野の米づくりは機械を使うことでどのように変わったのだろうか。</p> </div> <p>バケツ稲での田植え体験の様子、昔の手で植える田植えの様子と機械で行う田植えの様子を比較させたり、今と昔の作業時間を比較させたりすることで、機械化によって効率的に米づくりが行われていることを理解する。</p>
		1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>農家の人々の工夫や努力を支える仕組みにはどのようなものがあるのだろうか。</p> </div> <p>JA の働きや水田農業試験場について調べ、米づくりを行う農家の人々を支える仕組みがあることを理解する。</p>
		1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>庄内平野で作られたお米はどうやって私たちに届けられるのだろうか。</p> </div> <p>資料（高速道路や鉄道の地図）やお米マイスターの話から、作られたお米の保存方法やそのお米がトラックやフェリー、鉄道によって私たちのもとへ届けられること、米の値段はどのように決められているのかということを理解する。</p>

	まとめる	1	<p>これまでの学習を振り返り、私たちの主食である米が庄内平野で米づくりがさかんに行われている理由や農家の人々の工夫や努力、運輸の仕組みについてまとめる。</p> <p>庄内平野では自然条件を生かしながら農家の人たちの努力や工夫によってお米が作られ、多くの人の手によって私たちに届けられている。</p>
第二次 日本の農業の発展のために自分ができること	つかむ	1 本時	<p>1週間の主食調べの結果や米の生産量と消費量のグラフ、1993年の冷害による米不足当時の新聞記事を読み取り、生産量と消費量が減少しているという問題を自分の問題として捉え、学習問題を作る。</p> <p>日本の米づくりを元気にするために農家の人たちや私たちはどのような取り組みができるのだろうか。</p>
	調べる	2	<p>日本の米づくりにはどのような課題があるのだろうか。</p> <p>生産量と古米のグラフの比較や消費量と米価のグラフの比較から、生産調整や消費者の米離れなど現代の米づくりが抱える問題に気づく。</p> <p>農家の人たちはどのような取り組みを行っているのだろうか。</p> <p>後継者育成のための活動や消費者と生産者の交流、飼料活用やブランド化など、現代の米づくりの諸課題に対する取り組みについて調べていく。</p>
	まとめる・いかす	1	<p>日本の農業を元気にするために私たちにはできることがあるのだろうか。</p> <p>今の自分の生活、この先の自分の生活でできることを考え、これからの米と私の生活宣言としてお米マイスターに伝えていく。</p>

## 7 市教研社会科研究主題解明のための方策

「みえる わかる・・・いかす」  
よりよい社会の形成に参画する力を育てる社会科学習

本年度主題解明のための方策（市教研社会科部会研究計画より）

- ① めざす子どもの姿、習得すべき概念、身に付けさせたい力の明確化
- ② 追求意欲を高め、社会認識が深まり、参画への意識が育つ教材の開発
- ③ 主体的に学び、参画への学習意識が高まる学習過程の工夫（問題解決的な学習の充実）
- ④ 社会認識の深まりや社会に参画する力を見取る評価の工夫

本小單元では、研究主題の中から次の点に留意して指導および評価に取り組んでいきたい。

米の生産は国民の生活を支える主食を確保する上で重要な役割を果たし、国土の様々な自然条件に合わせ、稲作とそれに関連する産業に携わる人々の工夫や努力によって営まれている。

現在の日本の米づくりは様々な問題を抱えており、解決のためにはさらなる工夫や改善が必要になる。

収穫された米はコントリーエレベーターで保存されたのちに、運輸の働きによって消費者である私たちのもとへ届けられている。

庄内平野には水田農業試験場など、おいしい米を作るための仕組みがある。

庄内平野では農作業の機械化をしたり、地域の農家が協力したりして作業の効率化を図り、生産を高めている。

庄内平野の稲作農家は一年を通して様々な作業を行い、米を大切に育てている。

庄内平野は米づくりに適した地形や気候であり、人々は自然条件を生かして米づくりを行ってきた。

米は我が国の各地で生産されており、庄内平野は我が国を代表する稲作地帯の一つである。

私たちの身の回りには米から作られている物が数多く存在し、私たち国民の生活は主食であるお米によって支えられている。

- ・ 生産調整
- ・ 跡継ぎ問題

- ・ 共同作業
- ・ コントリーエレベーター

- ・ JA
- ・ 品種改良

- ・ 食料基地
- ・ 産地直送

- ・ 専業農家
- ・ 農作業ごよみ

- ・ 季節風
- ・ 豊かな水
- ・ ほ場整備

- ・ 庄内平野
- ・ 耕地
- ・ 防砂林

- ・ 米、稲、水田
- ・ 主食

### ① めざす子どもの姿、習得すべき概念、身に付けさせたい力の明確化

(食への関心をもつ児童にするために)

本学級の児童は普段食べているものがどのように生産され、自分たちのもとへ届くのかということに対して、関心が低い。そこで、私たちの主食である米を題材とし、生産過程や農家の人々の工夫や努力、運輸などについて学ぶことで、私たちの生活を支える食料生産に対して関心をもたせたい。そこで、導入時には普段家庭で食べている米の袋などを資料として扱い、身近なものとして捉えられるようにする。また、本時では米の生産量と消費量の減少を自分の問題として捉えるために、1993年時の冷害による米不足の新聞記事の読み取りを行う。現実にあったことを資料とすることで自分の身にも起こりうるかもしれないという思いから食への関心を高めることができると考える。

(物事を様々な角度から捉える姿勢を育てるために)

本学級の児童は社会科の学習のなかで複数の資料を関連付けて考えるという経験があまりない。そのため、物事を一面的に捉えてしまう傾向がある。そこで、調べる段階での機械化の学習では、稲作の作業時間の変化のグラフと10aあたりの米の生産量のグラフを示し、機械化が進むことで効率よく農作業が行われてきたことに気づかせたい。また本時でも米の生産量と消費量のグラフを比較し、需要と供給のバランスが崩れると様々な問題が起こることに気付かせたい。第二次の調べる段階で米価と消費量のグラフの比較、生産量と古米のグラフの比較から、米が安くなっても消費は増えない、お米をたくさん作れるけど作らないという事実気づかせたい。この学習を通して物事を複数の視点から見つめることで、新しい発見があることを児童に気付かせたい。

### ③主体的に学び、参画への学習意欲が高まる学習過程の工夫（問題解決的な学習の充実）

(学習への意欲を高めるために)

子ども達に社会事象を正しく理解させるためには資料の精選だけでなく、「調べたい」という意欲を高める問題解決的な学習の流れを作ることも大切である。そのため、第一次の導入時には米を用いた料理や家庭で見つけた米袋などを活用する。児童にとって身近な資料を活用することで意欲的に学習へ取り組むことができると考える。また、調べる段階で農家の人々の工夫を学ぶ際に、体験活動であったバケツ稲での田植えの経験を想起させることで、児童が田植えに対して身近に感じられるようになり、意欲をもって学習に取り組めると考える。さらにはお米マイスターの話聞く場を設定することで、実際に社会生活を営んでいる人の姿を知ることができ、学習している内容と自身の生活を結びつけやすくできるようになると考える。また、本時では児童の1週間の主食の様子を振り返らせたり、過去の新聞記事を資料として活用したりすることで児童の意欲を高めていくことができると考える。



8 本時の指導（9／12）

（1） 本時の目標

○日本の米づくりが抱える問題に関心をもつことができる。 （関心・意欲・態度）

○お米マイスターの話や資料から思ったことや自分にできることを考え、表現している。

（思考・判断・表現）

（2） 本時の展開

学習活動と内容	○教師の支援 ◆評価の観点	資料
<p>1 1週間の主食調べの結果からわかったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりお米を食べていないよ。</li> <li>・朝はパンを食べることが多いよ。</li> </ul>	<p>○普段の食事の主食を調べ、米をあまり食べていないことに気付かせる。</p> <p>○米のところに丸を付けさせ、視覚的に理解できるように助言する。</p>	<p>・主食調べの用紙</p>
<p>2 米の生産量と消費量のグラフを調べ、わかったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産量も消費量も減ってきているね。</li> <li>・生産量は上がったたり下がったりしているよ。</li> <li>・生産量が消費量より低い時があるね。</li> </ul>	<p>○生産量と消費量のグラフの移り変りを以下の点に注目して読み取らせるよう助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な傾向</li> <li>・生産量と消費量の移り変わりの様子</li> <li>・一番生産量が下がった年</li> </ul>	<p>・生産量と消費量のグラフ</p>
<p>3 1993年の冷害による米不足の時の新聞記事を読み、当時の人々の様子を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お米を買うために行列ができているね。</li> <li>・何軒もお店を探しまわって大変そうだ。</li> <li>・たくさんの人が困っていたんだね。</li> <li>・お米がなくなると大変なことになるね。</li> </ul>	<p>○お米を買うために並んでいる人々の写真を提示し、どのような状況だったのかを視覚的につかませる。</p> <p>○米を求めて様々なお店を回る女性の日記を何件目で米を手に入れたのかを予想させながら読む。</p>	<p>・1993年の新聞記事（行列を作る人々、米を求めてお店を回る女性の日記）</p>
<p>4 米の生産量と消費量が減ってきていることについて友達と考えを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本のお米が食べられなくなるのは嫌だな。</li> <li>・このままだとお米を作る人がいなくなってしまうかもしれないね。</li> </ul>	<p>○生産量や消費量の減少に対して、どのように考えているのかを伝え合う。</p> <p>○減少が続いていくと10年後の自分の食生活にどのような影響があるのかを想起させる。</p>	

<p>・日本の米づくりはどうなってしまうのかな。</p> <p>5 お米マイスターの話聞き、現在の日本の米づくりには様々な課題があることを知り、思ったことや考えたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産量や消費量の減少以外にも考えなければいけないことがあるんだね。</li> <li>・それに対して取り組みはしているのかな。</li> <li>・わたしたちにもできることを見つけよう。</li> <li>・お米をたくさん食べよう。</li> <li>・買い物に行くときに家の人に農家の人の工夫について話をしよう。</li> </ul> <p>6 お米マイスターの話から思ったことや考えたことをもとに学習問題を作る。</p>	<p>◆日本の米づくりが抱える問題を自分の問題として捉えている。</p> <p style="text-align: center;">【関心・意欲・態度】</p> <p>○お米マイスターの話のなかで、「みんなにできることを見つけてほしい」というメッセージも話してもらい、次時以降の学習に意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>○自分にできることを考えている児童には消費者という今の立場を確認し、実行できることを考えるように促す。</p> <p>◆お米マイスターの話や資料から思ったことや自分にできることを考え、表現している。</p> <p style="text-align: center;">【思考・判断・表現】</p>	<p>・お米マイスターの話 (VTR)</p>
<p>日本の米づくりを元気にするために農家の人たちやわたしたちはどのような取り組みができるのだろうか。</p>		
<p>7 次時からどのような問題が起きているのか、どのような取り組みが行われているのかを調べていくことを伝える。</p>	<p>○これからの学習で調べたことや、それをもとに考えたことをお米マイスターに伝えることを確認する。</p>	